

ボランティア実践講座を開催しました

令和2年12月10日、させぼ市民活動交流プラザにて感染予防対策を行ったうえで『ボランティア実践講座』を開催し、17名が参加されました。

今回は講師に『ユニバーサルライフ研究会』代表 下釜 豊広 氏をお迎えして『バリアフリーとユニバーサルデザインについて』をテーマに、それぞれの定義や考え方の講話と実際のユニバーサルデザインの道具の紹介などが行われました。



講座の様子

※『バリアフリー』とは障害者・高齢者を主な対象として、生活の支障となるものを取り除いた物事や状態です。一方『ユニバーサルデザイン』は年齢や能力、状況にかかわらず、誰もが利用しやすい生活環境をデザインする考え方のことです。

ユニバーサルデザインクイズ(表紙掲載)答え



① カップ麺を持ちやすくする着脱が簡単なホルダーです。



② こちらもペットボトルを持ちやすくするホルダーでした。



③ トング型の箸です。握力が低い人でも、軽力で食べ物を掴むことができます。

どれも優しさと、アイデアで作られた道具だぼん!



講師の下釜氏は「建物などの“物理的バリアフリー”、制度や言葉など気持ちによる“心のバリアフリー”、道具などによる“ユニバーサルデザイン”は、すべては思いやりの気持ちがベースになっています」と話されました。

参加者からは「バリアフリーは知っていたがユニバーサルデザインは知らなかったので勉強になりました」「思いやりの気持ちで生活し、相手の気持ちになって助け合い精神でがんばりたい」などの感想をいただきました。

こんなものもユニバーサルデザインです!



つまみを押しすと、簡単に外れるコンセントのつまみ式プラグ



片手で開け閉めができるハミガキ粉の蓋



硬いガラス瓶の蓋を軽力で開けることができる補助道具

この他にも、たくさんのユニバーサルデザインの道具が私達の生活の中で活躍しています。皆さんも身近なユニバーサルデザインを、見つけてみてください。



2020年度 第6号
令和3年2月1日

ユニバーサルデザインクイズ!



【問題】①～③の道具はどのように使用するのでしょうか?



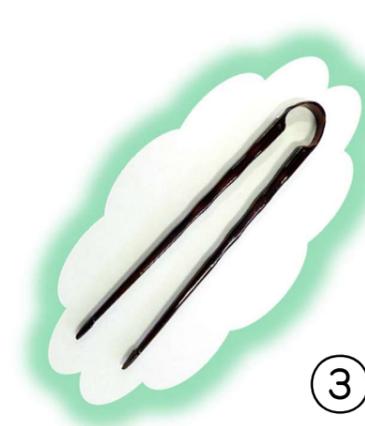
①

◆特集◆

「ボランティア活動上での事故防止・軽減、感染症対策のポイント」

ヒントは「持ちやすい」

答えは「ボランティア実践講座開催」の記事をご覧ください。



③



②



させぼん

佐世保市ボランティアセンター(社会福祉協議会)

〒857-0864 佐世保市戸尾町 5-1 させぼ市民活動交流プラザ 1階

TEL : 0956-23-3905 / FAX : 0956-42-0102 E-mail : kureyon@sasebo-shakyo.or.jp

時間 / 10:00~18:45 (火~土) 10:00~17:00 (日)

休館日 / 月曜・祝日・年末年始・プラザの休館日



「くれよん」はボランティアの方々のご協力によって発行されています。

安心・安全に活動を行うために
ボランティア活動の際の事故防止・軽減、感染症対策の注意事項

◆事故防止・軽減のためのポイント◆

●体調が悪いときは決して無理はしないこと！

健康と体調は安全な活動の基本です。「無理をする」は「大きなミスや怪我をして、他の人に迷惑をかける可能性がある」という認識が必要です。



●情報収集をしましょう！

活動場所や活動内容、往復途上の交通状況などの情報収集は、リスクを事前に予知するための基本です。遅刻や事故の未然防止、軽減に繋がります。



●活動に適した服装を！

活動の内容、季節、気候などを照らし合わせ、適した服装で活動に向かいましょう。



●責任者の説明をしっかりと聞きましょう！

活動の内容を正しく把握して、事故防止箇所を確認するのが大切です。不明な点は積極的に尋ねて、安全に活動を行いましょう。



◆新型コロナウイルスを持ち込まない・持ち帰らないためのポイント◆

●活動前に検温で体調チェック！

よくみられる症状

- 発熱 (37.5℃以上又は平熱を1℃以上超える)
- 頭痛
- せき
- 筋肉痛
- だるさ



こんな症状がでる人も…

- 呼吸が苦しい
- においを感じない
- 味を感じない
- 下痢



※症状を感じないこともあります。

1つでも当てはまる場合は無理せず休みましょう。症状が軽くても人に感染させる場合があります。ボランティア活動先に電話でお休みすることを伝えましょう。

●手洗い、消毒を心がけよう！

石鹸やハンドソープで指の間や爪の中、手首まで30秒ほどしっかりと泡立てて洗い、流水でよくすすぎましょう。ハンカチやタオルで拭くときは、他の人と同じものは使わないようにしましょう。アルコール消毒も効果的です。



●マスクをつけよう！

ウイルスは口や鼻、目の粘膜から入ってくると言われ、感染した人の咳やくしゃみなど吹き出した飛沫で、感染する可能性があります。マスクをすることでウイルスが飛びにくくなり、吸い込みにくくなります。



この情報紙は「赤い羽根共同募金」の配分を受けて作成しています。

●体と体の距離を取り、換気を心がけよう！

人との距離は、手を広げて当たらない2メートル以上を保ち、こまめに窓などを開けて空気の入替えを心がけましょう。
※ボランティアの内容によっては、どうしても距離が取れない場合があるので、そのときはマスク・手洗い・消毒をしっかりと行いましょう。



新型コロナウイルス感染症が広がる中では自分の健康と相手の健康を第一に考えて行動することが最も重要です。ボランティア活動中に限らず、新型コロナウイルス感染症にかからないよう、また周囲にうつさないよう気をつけて行動をお願いします。

登録ボランティアの皆さん
登録の更新をお願いします！

昨年までのボランティア実績や、今年やってみたい活動を教えてください！

ボランティアセンターに登録しておられる個人ボランティアの方、登録団体の方に更新の書類を送付いたします。



●登録団体は登録を継続される場合、2020年度の活動報告書、2021年度登録票の提出をお願いします。登録を取り消される団体は、所定の用紙を送付いたしますのでご連絡ください。

●個人の方は、2021年度の「個人ボランティア活動希望申込書」の提出をお願いします。登録を取り消される方は、その旨ご連絡ください。

安心してボランティア活動を行うために
ボランティア活動保険の更新

2020年度のボランティア活動保険の補償期限は **2021年3月31日** で終了します。

2021年度の4月以降の加入については3月から申し込みができますので、**ボランティアセンター**または**社会福祉協議会**でお早めに手続きをお願いします。

	基本プラン	天災・地震補償プラン
保険料	350円	500円

持ち芸を活かして、私達と一緒に活動しませんか！

「ひよっとこと愉快的仲間達」会員ボランティア募集中！

『ひよっとこと愉快的仲間達』は、福祉施設や地域行事などで演芸を披露するボランティアグループです。

現在、一緒に活動してくれるメンバーを募集しています。宴会芸や踊り、モノマネや演劇などの趣味や特技をお持ちの方、会員同士で親睦と心身の向上を図りながらボランティア活動しませんか！

各自の芸の上達のため、不定期に集まって練習会も行っています。

ご興味がある方は、ぜひ一度お問い合わせください。

【TEL:0956-33-4631 ひよっとこと愉快的仲間達(藤川)】
またはボランティアセンターまで、ご連絡をおねがいします。

